



鯉のぼりまつり 乳搾りに長い列

4月29日から5月7日まで、くずまき高原牧場で第15回鯉のぼりまつりが開催され、多くの観光客で賑わいました。

羊やヤギが放牧された牧草地には、約300匹の鯉のぼりが風に泳ぎ、来場者は牧場ならではの風景を思い思いに写真に収めていました。また、4年ぶりとなる牛の乳搾り体験コーナーには家族連れなどで長蛇の列ができ、体験した照井海凧さん（小学6年、八戸市）は「牛のお乳が温かくて驚いた。少し怖かったけどうまく搾れた」と楽しんだ様子でした。

牛の乳搾りに挑戦する子ども

旧交を温めながら 中川淑さん版画展

5月12日から14日まで、かつて町の中学校で英語指導助手を務めた中川淑さん（アメリカ在住）が、くずま〜で版画展を開催しました。

淑さんは平成11年から2年間町で暮らし、くずまき秋まつりやバスケットボールなどを通じて多くの町民と交流しました。現在は版画家として活躍する淑さんの作品には、町の風景から発想を得た作品もあります。淑さんは「大好きな葛巻で展示会ができ、町の人にたくさん会えてとても嬉しい」と話し、久しぶりに会う町民や教え子らと思い出話に花を咲かせていました。



作品の解説をする淑さん（右から2人目）



町からの説明を聞く自治会長の皆さん

地域の連携を密に 行政連絡会議開催

4月26日、令和5年度行政連絡会議がまき×まきホールで行われ、各自治会長ら関係者約50人が出席しました。

会議では、觸澤義美副町長が「町と地域が連携し、協創のまちづくりを推進していきたい」とあいさつ。その後、各課長が主要施策や連絡事項について説明し、自治会長の皆さんは真剣な表情で説明を聞いていました。

なお、同日行われた自治連合会総会では、浦子内町内会の神谷義次さんが新たに会長に選出されました。

事故防止など学ぶ 刈払機作業の講習

刈払機作業に従事する者の安全衛生教育講習会（林業・木材製造業労働災害防止協会岩手県支部主催）は4月27日、くずまき高原牧場のもく・木ドームで行われ、36人が受講しました。

研修の内容は、労働安全に関する法律や刈払機の整備の仕方、振動や騒音による健康被害の防止対策、実技など幅広い分野にわたり、参加者は熱心に学んでいました。講師の澤幹信さん（江刈）は「作業の時に心にゆとりを持つことが事故防止につながる。今回得た知識を周囲の人にも伝えてほしい」と話していました。



刈払機の安全な操作を学ぶ受講生の皆さん



真剣な表情で試合に臨む参加者たち

仲間たちと笑顔で ゲートボール大会

町ゲートボール協会（中崎和久会長）主催の第40回町ゲートボール大会は5月21日、総合運動公園で開催され、町内の11チーム62人が参加しました。

開会式中中崎会長は「4年ぶりの開催となりました。和気あいあいとゲートボール熱を盛り上げていきましょう」とあいさつ。参加した上方武雄さん（五日市）は「久しぶりの大会で緊張しましたが、そこが大会の良いところだと思います」と、仲間たちとの試合を楽しんだ様子でした。結果は、ふきのとうが優勝しました。



堂々とバイオリンを演奏する子どもたち

大舞台上で堂々と バイオリン演奏

4月29日、第52回盛岡芸術祭弦楽部門スプリングハーモニー 2023（盛岡芸術協会、県弦楽研究会主催）が盛岡市民文化ホールで開催され、町内小学校の1年生の有志7人がバイオリン演奏を披露しました。

児童は、盛岡市などの小学生と合同で「きらきら星変奏曲」を演奏。大勢の観客に緊張した様子を見せながらも、ステージに上がると姿勢よくバイオリンを構え、保育園の頃から練習を重ねた曲を最後まで堂々と演奏し、会場からは温かい拍手が送られていました。